

《市独自の新型コロナウイルス緊急対策》

高齢者向けスマホの使い方教室 受講者を応援

市は、令和3年7月16日に開催された野田市議会第5回臨時会（補正予算）において、高齢者向けスマホ教室等受講料助成金を可決した。

スマートフォンを所有しているものの、十分に使い方がわからない、65歳以上の市民に対し、スマートフォンの使い方についての講座を、今年度12月の開始を目途に市の公民館事業として展開することとしている。

なお、その準備期間の緊急対応として、現在スマートフォンの使い方についての講座を実施している「野田地域職業訓練センター（さわやかワークのだ）」の、今年度内の当該講座の受講者に対し、受講料の全額を助成するのが、7月の補正予算の主旨である。

これらのことにより、本市における高齢者のスマートフォンを利用した情報の収集及び伝達の手段の拡充を図り、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。

●きっかけは、新型コロナウイルスワクチン接種予約

本市において、65歳以上の新型コロナウイルスワクチン接種予約を開始したのは、令和3年5月6日（木）だった。予約方法はコールセンターへの電話予約、又はインターネットの予約受付システムの利用、どちらかを選んでいただき受付を開始した。

反響は非常に大きく、翌5月7日（金）には、予約の一時中止の発表をせざるを得ない状況となった。それ以降、インターネット環境がない、また、インターネット予約を頼れる家族や友人がいないという市民から、「ずっと電話をかけ続けているのに全然つながらなかった」「インターネットの操作方法がわからない」などという意見を多くいただいた。

その後7月1日以降、市内に集団接種会場を2カ所設けたことから、65歳以上のワクチン接種予約は、現在落ち着いているが、災害時の緊急情報の取得や、将来、市の施設利用やイベントへの参加予約は、デジタル化していく方向であり、高齢の方もスマートフォンなどを利用して、インターネットを身近に活用できるよう図る必要があることから、高齢の方が通いやすい近所の公民館での講座を実施し、今後も継続していこうとするもの。

●公民館の講座の想定

- ・令和3年12月以降に市内5カ所程度の公民館で開講（市内10公民館及び生涯学習センターを巡回予定）
- ・2日間で5時間の講座 受講者数は12人 12人×5公民館×下半期=60人
- ・上半期、下半期それぞれ、公民館を変えて実施し、継続して実施していくことでより多くの高齢者に受講していただく
- ・講座は業務委託で行い、カリキュラムは市の希望項目を盛り込む

●緊急対応の「野田地域職業訓練センター（さわやかワークのだ）」の講座概要

- ・講座名 アクティブシニア向けスマホ教室
- ・日程 10月から12月まで（下半期講座）
- ・コース 全6日間（1日3時間）で、3コース
- ・定員 各コース6人
- ・受講料 1人19,800円
- ・講座対象者 アンドロイドかiOS（アイフォン）のスマートフォンをお持ちの方で、スマートフォンを買ったものの、使い方がわからない初心者の方
- ・今後のスケジュール 令和3年8月下旬に下半期講座の発表、9月中旬受付開始

●「野田地域職業訓練センター（さわやかワークのだ）」の受講料助成金対象者の条件

- ・講座を受ける年度中に満65歳になる市民 など
- ・市の補正予算額 359千円（19,800円×18人分 + 事務費）

※市では、職業訓練センターと協議し、講座の中で市ホームページ、市公式動画チャンネルの閲覧や、市のまめメールや防災ツイッターの登録方法などを盛り込み、市の情報を入手する方法を指導していただくよう図っている。

【野田地域職業訓練センター（さわやかワークのだ）の紹介】

平成12年2月、あらゆる産業に従事する勤労者の能力を開発し、勤労者の経済的、社会的地位の向上を図り、地域の発展に寄与することを目的として雇用・能力開発機構によりセンターの運営団体「職業訓練法人 野田地域職業訓練協会」が設立された。

その後、平成23年に施設は野田市に移管され、事業は雇用・能力開発機構からの委託を受け、引き続き協会が担っている。

（事業内容）労働者や求職者に対する教育訓練・職業訓練、地域住民に対する生涯教育・文化教養の向上を目指した講座の実施

（設立から令和2年度末までの利用者数）812,650人

問合せ＝広報広聴課・直通 04-7123-1068

代表 04-7125-1111（内線 2376）

野 田 市